

インドネシア総選挙に世界が注目

有力候補者の出馬決定を市場が好感

ご参考資料 2014年3月17日

インドネシア大統領選挙の動向： 議会選挙運動が本格化

インドネシア経済の発展を支えてきたユドヨノ政権は2期目の任期満了を迎え、2014年4月の議会総選挙、続く7月の大統領選挙を経て新政権が誕生します。3月16日以降は議会総選挙に向けた大規模集会や広告が認められ、今後は選挙運動が本格化します。

大統領候補者のなかで現時点で有力とされるのは、最大野党である闘争民主党的ジョコウィ氏や、グリンドラ党のプラボウォ氏などの経済改革派の候補者です。特にジョコウィ氏は、まだ昨年の世論調査では出馬を表明していなかったにもかかわらず、40%を超える圧倒的に高い支持を集め、その動向が注目されていました。

インドネシア金融市場： ジョコウィ氏出馬決定で市場は前向きな反応

そのような中で闘争民主党は、3月14日に予想通りジョコウィ氏を大統領候補に擁立することを発表しました。市場はすぐにこの決定を好感し、日本を含むアジア株式市場が下落する中でインドネシアを代表する株価指数であるジャカルタ総合指数は大幅上昇し、約9ヶ月ぶりの株価水準まで回復しました。

これまでユドヨノ政権は2期10年間にわたりインドネシアの経済改革を推進してきました。ジョコウィ氏をはじめとする改革派の候補者が新大統領に選出されれば、これまでの路線を継承し、更なる経済改革を推し進めるとみられており、その動向に国内外から注目が集まっています。

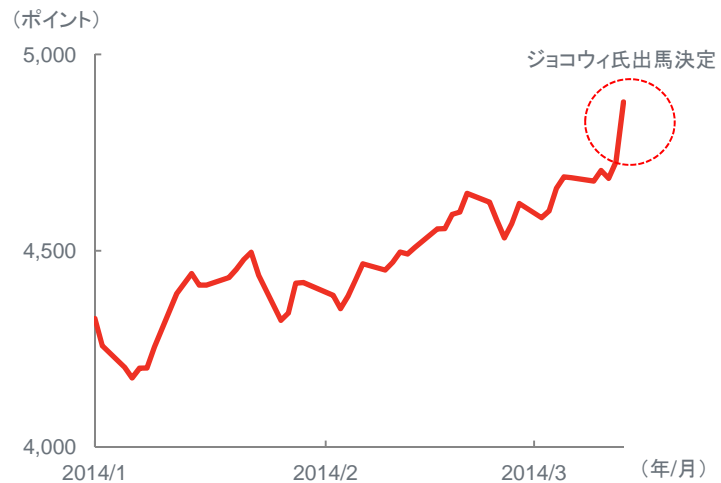


(写真:AFP/時事)

ジョコ・ウィドド氏 (通称:ジョコウィ)

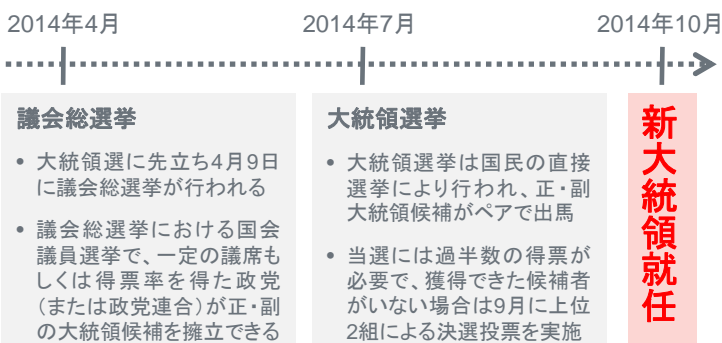
- 現ジャカルタ特別州知事で、庶民的な姿勢と低所得者向け政策により人気が集まる。
- 軍や財閥といった既得権益層との関係が希薄で、州知事として汚職との戦いに尽力。
- 外資系企業の認可手続きなどにおける既得権益の介入排除・透明化に期待。

ジャカルタ総合指数の推移(2014年1月2日~2014年3月14日)



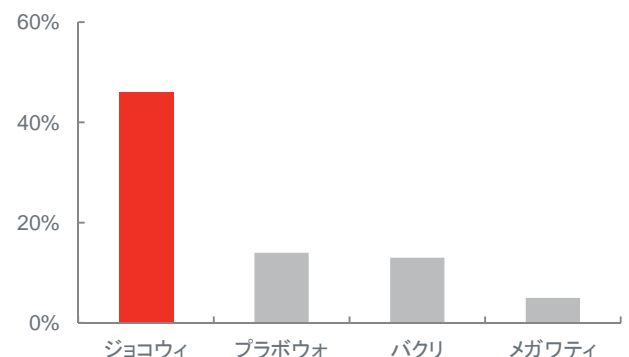
出所: Bloomberg L.P.

インドネシア 選挙スケジュール



出所: 各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

大統領選候補者の支持率(2013年9月時点)



出所: イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッド。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

140317(09)